

施工説明書

RoomCloser care

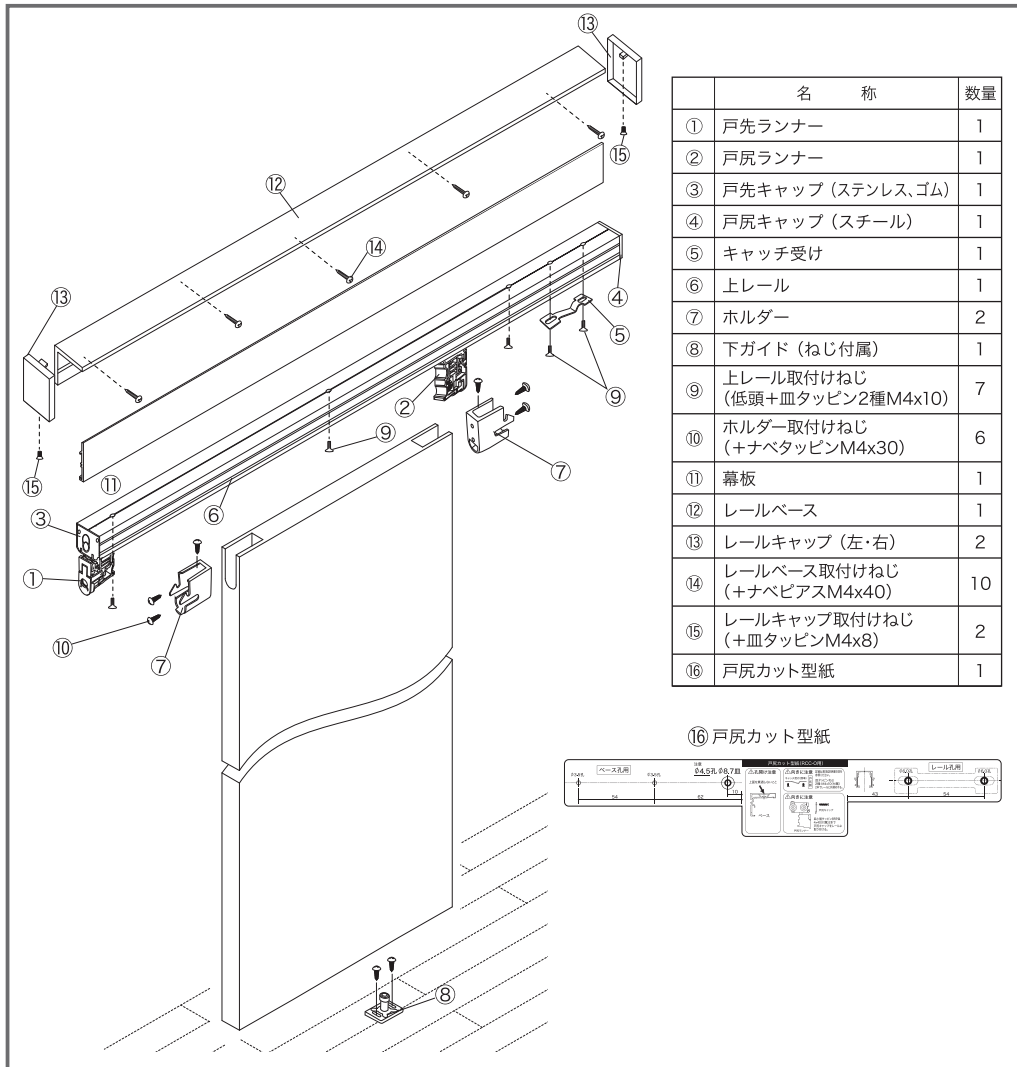
ルームクローザー・ケア



RCC-O アウトセット・幕板タイプ(オーダーサイズ)

RCC-OT アウトセット・幕板タイプ(規格サイズ)

部品構成



	名 称	数量
①	戸先ランナー	1
②	戸尻ランナー	1
③	戸先キャップ (ステンレス、ゴム)	1
④	戸尻キャップ (スチール)	1
⑤	キャッチ受け	1
⑥	上レール	1
⑦	ホルダー	2
⑧	下ガイド (ねじ付属)	1
⑨	上レール取付けねじ (低頭+皿タップピン2種M4x10)	7
⑩	ホルダー取付けねじ (+ナベタップピンM4x30)	6
⑪	幕板	1
⑫	レールベース	1
⑬	レールキャップ (左・右)	2
⑭	レールベース取付けねじ (+ナベピアスM4x40)	10
⑮	レールキャップ取付けねじ (+皿タップピンM4x8)	2
⑯	戸尻カット型紙	1

⑯ 戸尻カット型紙



建具仕様

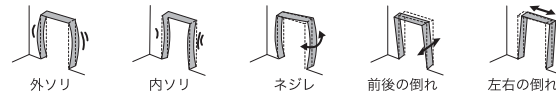
- 木製片引戸
- 厚さ 28mm ~ 36mm
- 重量 30kg以下
- 戸幅 640 ~ 1,355mm (ストローク1,200mmの場合)

ご使用上の注意

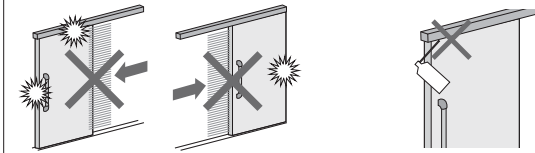
- ルームクローザー・ケアは、高齢者施設・住宅の居室入口や、一般住宅での屋内使用に適した製品です。学校や商業施設などの不特定多数の方が利用される箇所や、過酷な条件下でのご使用はお控えください。
- 屋外や浴室、化学薬品を取り扱う場所でのご使用はお控えください。

⚠ 注意

取り付ける枠や壁に変形がないようにしてください。正常な作動を妨げる場合があります。



- 戸は強い力で開閉(急開・急閉)しないでください。作動不具合や破損の原因になります。
- レール内に潤滑剤のスプレーや塗布をしないでください。埃を吸着して作動不具合の原因になります。



困ったときの対応

症 状	チェックポイント	対 処 方 法
セルフクローズの途中で止まってしまふ	床面(下ガイドのプレート)に戸下面が擦っていませんか。	戸の上下調整を行ってください。
	ブレーキが強く設定されていませんか。	ブレーキ力の調整を行ってください。
全開時キャッチが機能しない	戸当たりの設置位置が、キャッチ受けに干渉していませんか。	戸当たりとキャッチ受けの位置調整を行ってください。
	キャッチ力を最大まで緩めていませんか。	キャッチ力の調整を行ってください。
ブレーキが掛からない	ブレーキが弱く設定されていませんか。	ブレーキ力の調整を行ってください。
戸の開閉時に異音がる	戸が幕板や隣接する箇所に擦っていませんか。	隣接するものと擦らないよう、戸の前後調整を行ってください。
	上レール内にゴミや埃が残っていませんか。	レール内の清掃を行ってください。
	ランナーのタイヤにゴミや埃が付着していませんか。	一旦レールを外し、ローラーに付着したゴミや埃を取り除いてください。
	上レールを取り付けているねじの頭が出ていませんか。	ねじの締め直しを行ってください。

製品保証について

保証期間は建物の引渡日から2年間です。施工説明書やカタログの記載内容に基づく適正な使用状態で、保証期間内に当社製品に起因する不具合が発生した場合は、無償修理または交換をいたします。なお、保証期間内であっても以下に例示する免責事項にあてはまる場合は有償での修理、交換となります。

- 施工の不備に起因する不具合。
- 異常な高温、低温または多湿の環境下での使用。
- 建具や枠、躯体の変形に起因する不具合。
- お客様自身による改造、分解、修理に起因する不具合。
- 適用箇所以外、および適用サイズを超える建具を使用した場合。
- 天災などの不可抗力による不具合。
- 使用頻度が高いことによる部品の著しい消耗と、それに伴う作動不具合。

お問い合わせ先

株式会社SKB
〒577-0032 大阪府東大阪市御厨1-5-3

TEL: 06-6785-1013
FAX: 06-6788-7035 www.sk-net.co.jp

施工手順

RCC-OT (規格サイズ)の施工は①から、RCC-O (オーダーサイズ)の施工は②から始めてください。
※オーダーサイズでも、現場でレールを短くする必要が生じた際は①の手順でカットしてから②へお進みください。

④ 注意: RCC-OTで「参考納まり図2 (枠施設納まり)」に従って施工する場合のみ

16.5mmカット部分
⑫レールベース
⑫レールベース
⑫レールベース
⑫レールベース
①幕板
①幕板

①幕板と⑫レールベースの戸先側を16.5mmカットします。カットした⑫レールベースは、壁柱に突き当てる取付けを行います。この場合、戸先側の⑬レールキャップは不要となります。

① 長さカット

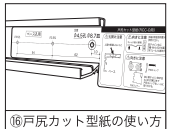
レールベースのカット

1. ⑫レールベースをカットします。

④ 注意: ⑫レールベースのカットは必ず戸尻側で行ってください。

2. ⑫戸尻カット型紙の左側、**ベース孔用**を使って、⑥上レールと⑤キャッチ受けを共締めする固定孔φ3.5mmを2ヶ所、⑬レールキャップの固定孔φ4.5mm・皿φ8.7mmを1ヶ所あけます。

④ 注意: レールベースの上面を貫通しないようにあけてください。



上レールのカット

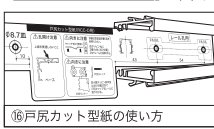
1. ④戸尻キャップを取り外します。
2. ⑥上レールをカットします。

④ 注意: ⑥上レールのカットは必ず戸尻側で行ってください。

⑥上レール 54 43 2.6
⑤キャッチ受け ④戸尻キャップ

④ 注意: カット寸法はレールベースと同じです。レールが変形しないよう、断面を補強しながらカットしてください。

3. ⑫戸尻カット型紙の右側、**レール孔用**を使って、⑤キャッチ受けの固定孔φ6.0mmを2ヶ所あけます。
4. 切粉や埃を除去します。
5. ④戸尻キャップを付け直します。



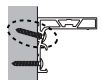
② レールの取付け

レールベースの取付け

⑫レールベースの取付け位置を決め、⑭レールベース取付けねじで壁面に留めます。(ねじの本数はレールの長さによって余る場合があります。)

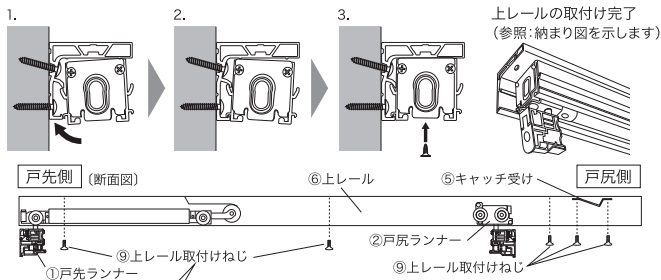
④ 注意: ●レールベースの取付け面には、必ずねじの利く下地が必要です。
●戸の吊込み前に、①戸先ランナーを1,200mm以上動かさないでください。バネが破損する原因になります。

④ 注意: ●レールベースは必ず水平に、すべての取付けねじを使ってねじ留めしてください。
●ねじ頭が浮くと⑥上レールが当って取り付かない場合があります。ねじ留めの角度に注意してください。(右図参照)
●下地にねじが通らない箇所があった場合は、近くに孔をあけ直してください。



上レールとキャッチ受けの取付け

1. ⑥上レールの爪を⑫レールベースの爪に引っ掛けます。
2. 図のような状態で⑥上レールが仮保持され、手を離しても落ちないことを確認します。
3. ⑫レールベースと⑥上レールのねじ孔位置を合わせ、⑨上レール取付けねじで固定します。(ねじの本数はレールの長さによって余る場合があります。)
4. ⑤キャッチ受けを、レールの戸尻側に⑨上レール取付けねじで⑫レールベースへ⑥上レールと共締めします。
5. 戸の吊込みまでの間に上レール内部へゴミ・埃が入るのを防ぐため、再度レール底面に養生テープを貼ります。

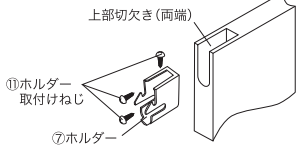


④ 注意: すべての取付けねじを使ってねじ留めしてください。
④ 注意: 「キャッチ受け」の向きを間違えると、戸の全開時にキャッチ機能がはたさません。

③ 吊込み前の準備

戸の加工とホルダーの取付け

1. 別紙の納まり図に記載のある引戸加工図に従って、戸の上部両端と底部を加工します。
2. 上部切欠き(両端)に⑦ホルダーを入れ、⑪ホルダー取付けねじ(各3本)でねじ留めます。



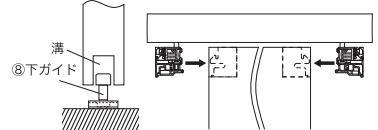
下ガイドの取付け

1. 別紙の納まり図に従って、⑧下ガイドの取付け位置を決めます。
2. 向きに注意して付属のナベタッピンねじM3×18で固定します。



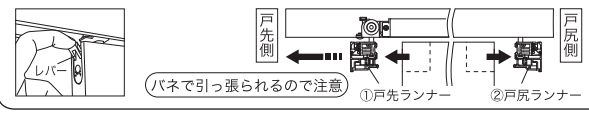
④ 戸の吊込み

1. 上レール内部の清掃を行います。(ランナー走行面の拭き取り、エアブローでの埃除去。)
2. 戸の底面の溝に⑧下ガイドを通して、①戸先ランナーと②戸尻ランナーを⑦ホルダーにカチッと音が鳴るまではめ込みます。



戸の取外し ①戸先ランナー・②戸尻ランナーのレバーを起こして引き出します。

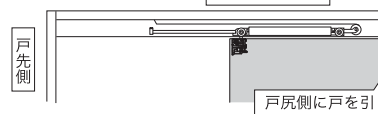
④ 注意: ①戸先ランナーを引き出す際は必ず手を添えてください。引き出すと同時にバネで引っ張られるので、壁柱と衝突して破損する恐れがあります。



⑤ 動作確認

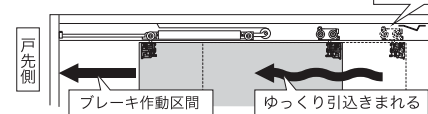
戸を全開にする

戸をカチャと音が鳴るまで全開し、キャッチが掛かっているか確認します。



戸を閉じる

全開状態から戸を引き、キャッチを解除したら手を離します。戸が自動で引き込まれ、ブレーキが掛かってから閉まりきることを確認します。

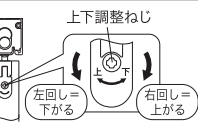


⑥ 各種調整

④ 注意: 各調整時、電動ドライバーは使用しないでください

戸の上下調整

上下それぞれ4mmの調整が可能です。
①戸先ランナー・②戸尻ランナーの“上下調整ねじ”を回して調整します。
※出荷状態はレールと戸の隙間が7mmになる設定です。



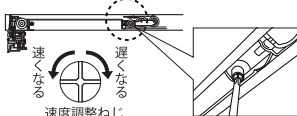
キャッチ力の調整

②戸尻ランナーを外し、ランナーの下面にある“キャッチ力調整ねじ”を回して調整します。
※左回し:キャッチ力が強くなる
右回し:キャッチ力が弱くなる



ブレーキ力の調整

ブレーキ作動区間内戸が閉まる速さを調整できます。
①戸先ランナーを外し、ブレーキシリンダーに付いている“速度調整ねじ”を回して調整します。
※左回し:速くなる(ブレーキ力が弱まる)
右回し:遅くなる(ブレーキ力が強まる)



戸の前後(奥行き)調整

前後それぞれ1.5mmの調整が可能です
1. ①戸先ランナー・②戸尻ランナーを外して下面にある“前後調整ねじ”を緩めます。
2. 戸の前後位置を調整します。
3. 調整が終わったら、“前後調整ねじ”を締め込みます。



下ガイドの調整

前後それぞれ2mmの調整が可能です
1. 固定ねじを緩めます。
2. 下ガイドの前後位置を調整します。
3. 調整が終わったら、固定ねじを締め込みます。



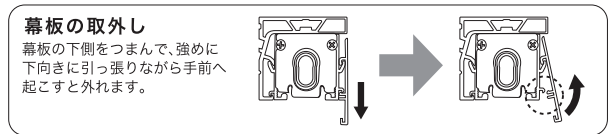
⑦ 幕板の取付け

1. ①幕板の裏面上側にある爪を、⑥上レールの爪に引掛けます。
2. 幕板を下向きに引いて仮保持状態が確認できたら、下側をパチッと音が鳴るまで押し込みます。
3. 幕板の下側をレールの端から端まで押し込み、浮いている箇所がないことを確認します。



幕板の取外し

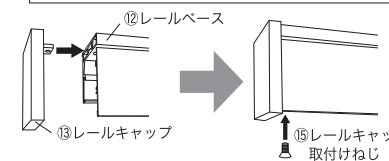
幕板の下側をつまんで、強めに下向きに引っ張りながら手前へ起こすと外れます。



⑧ レールキャップの取付け

⑬レールキャップを図のように⑫レールベースへ差込んで、⑮レールキャップ取付けねじで下から固定します。

④ 注意: ねじは廻しすぎないでください。キャップの孔が破損する場合があります。



④ 注意: 施工完了後、必ず戸当り(別途)を設置してください。

参考納まり図



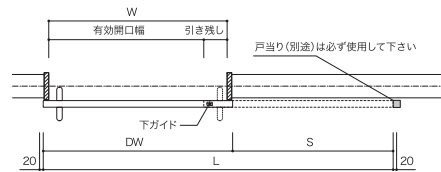
RoomCloser care ルームクローザー・ケア

RCC-O アウトセット・幕板タイプ(オーダーサイズ)

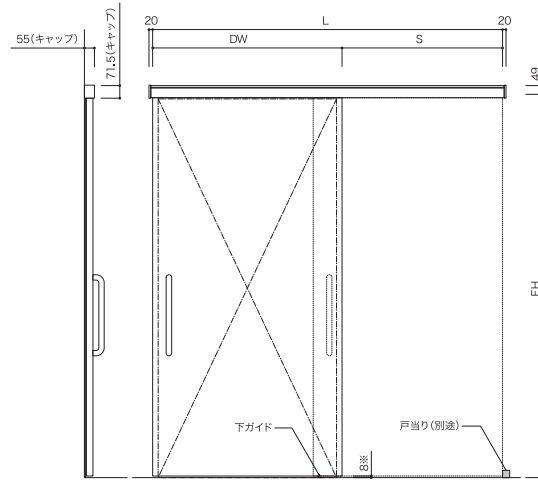
RCC-OT アウトセット・幕板タイプ(規格サイズ)

参考納まり図 1

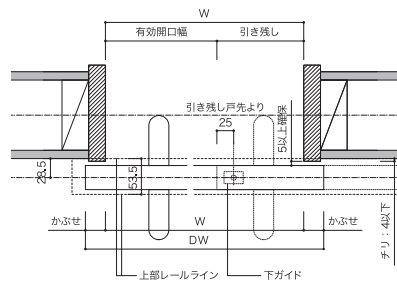
- L : レール長さ ≤ 2,555 (仕上り寸法は +40)
- W : 枠内開口幅
- DW : 戸幅
- FH : 枠上端高さ
- DH : 戸高さ
- S : ストローク ≤ 1,200



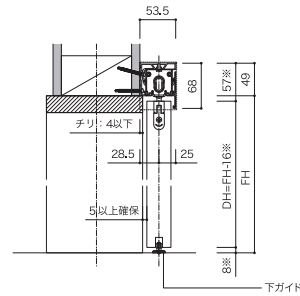
平面図



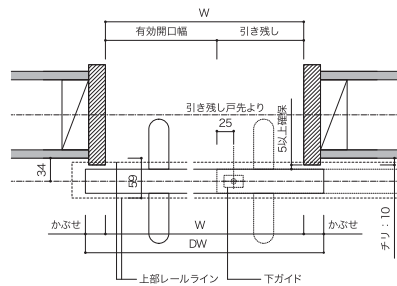
姿図



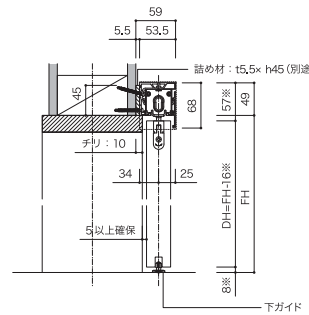
横断面図 (チリ~4mmの場合)



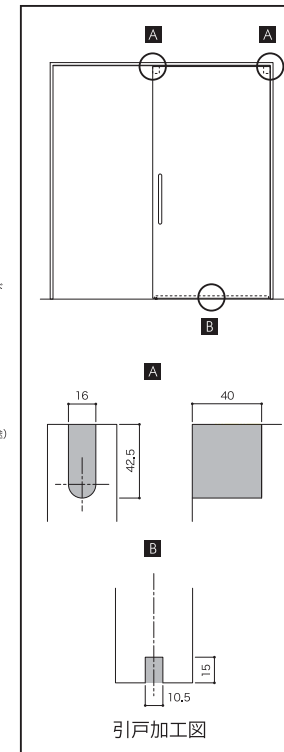
縦断面図 (チリ~4mmの場合)



横断面図 (チリ10mmの場合)



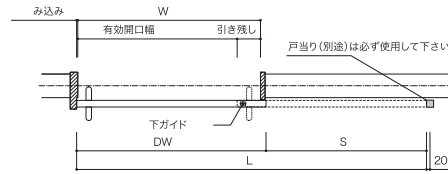
縦断面図 (チリ10mmの場合)



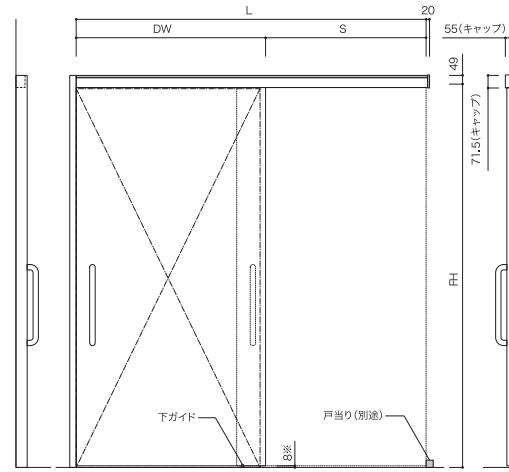
引戸加工図

参考納まり図 2 (枠施錠納まり)

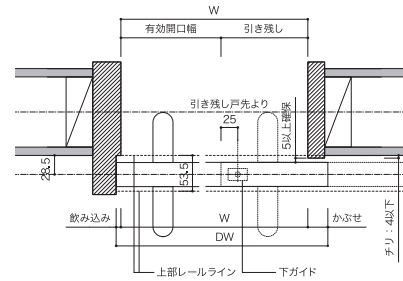
- L : レール長さ ≤ 2,555 (仕上り寸法は +40)
- W : 枠内開口幅
- DW : 戸幅
- FH : 枠上端高さ
- DH : 戸高さ
- S : ストローク ≤ 1,200



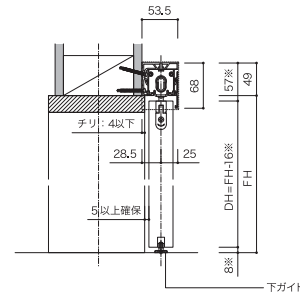
平面図



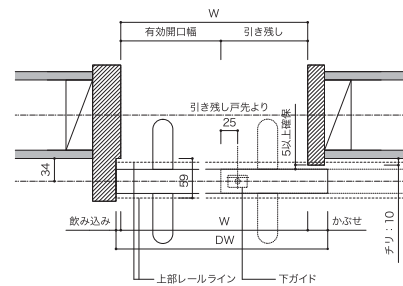
姿図



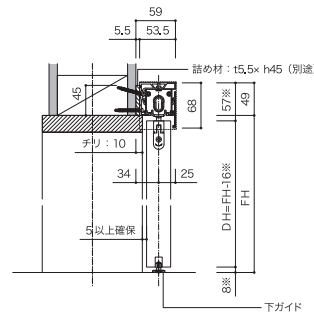
横断面図 (チリ~4mmの場合)



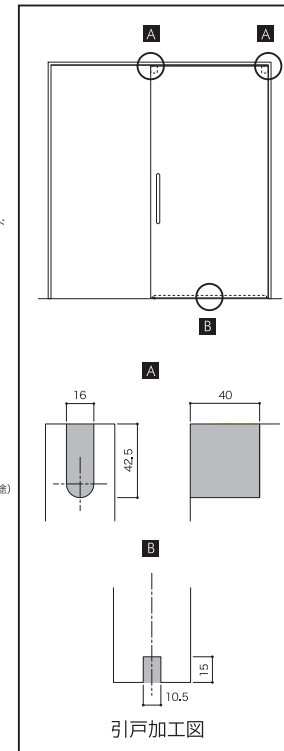
縦断面図 (チリ~4mmの場合)



横断面図 (チリ10mmの場合)



縦断面図 (チリ10mmの場合)



引戸加工図